(別紙1)本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成24年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)								
名	前	佐々木香代子	沂 属	留学生·	センター	職	名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成24年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成24年度 年度末自	己点核	結	果
教育	0.20	・授業内容およびレベルが履修登録した学生のニーズに合うよ業実施前のアンケート等を基に、シラバスに適宜変更を加えるいは、学習者の反応を見て教材に修正を加えるなど授業の質に努める。 ・留学生を受け入れている指導教員のためのインフォメーションを更新する。	、ある の向上	0.20	①授業内容およびレベルが履修登録した学施前のアンケート等を基に、シラバスに適宜応を見て教材に修正を加えるなど授業の質の②留学生を受け入れている指導教員のため定版を10月に発行し、HPを更新した。	変更を の向上	加えに努	る一方、学習者の反
研究	0.30	・一昨年度県内4大学の大学生を対象に行った沖縄語使用/ 査の結果をまとめ、発表する。 ・科研費(基盤研究(C))の助成を受けて行った県内高校生を対した沖縄語使用/理解についてのアンケート調査のデータを分論文を書くための準備をする。	対象に	0.30	①一昨年度県内4大学の大学生を対象に行結果がまとまったので、沖国大の紀要に投稿②科研費(基盤研究(C))の助成を受けて行沖縄語使用/理解についてのアンケート調子の準備をしている。	する ? った県 全のデ	予定 内部	である。 高校生を対象にした を分析しており、発表
社会貢献	0.30	・留学生まつりを7月7日(土)に実施し、留学生と地域の人々と流を図る。なお、病気や事故などが起きないよう、留学生の指導める。 ・久米島ホームステイを9月に実施する。ステイ中、留学生と地人々との交流活動を行い、双方の異文化理解に貢献する。・昨年度より取り組んでいる知的障害児の言葉の獲得および文習のための教材を、他学部の教員および学外の障害児教育役と連携しながら、さらに開発を進め、HPにUPし、誰もが利用でうにする。 ・学外の研究者等とともに開発を進めている「外国人のための管理解教材」の作成を進める。	算に努 域の マ字者 きるよ	0.30	①留学生まつりを生協との共同開催で7月7 NHKなどのテレビ局が取材に訪れ、ニュースも起きず、無事にまつりを終えることができた。②久米島ホームステイを9月に実施した。2家が3泊4日のステイを経験した。留学生は久対校を訪れ、生徒たちと交流した他、地域の方③昨年度より取り組んでいる知的障害児の記工学部の教員および特別支援学級の教員と方、地理を理解するための学習ソフトを開発は、春休み中にHPにUPする予定である。④学外の研究者等とともに開発を進めている教材」の作成を進めている。	で。族島と言連中で。族島のの見あ	さ、受在交獲なる	ルた。病気や事故など 入れ、6名の留学生、中学校または小学 た会にも参加した。 けのための絵教材を、 がら、開発を進める一 なお、絵教材の一部
管理運営	0.10	・ハラスメント相談室相談員として、対応に努める。 ・留学生のための災害対応マニュアルを更新する一方、留学生ターの災害対策システムを構築する。 ・日本語教育副専攻の副主任として、指導、調整等に務める。	ミセン	0.10	①ハラスメント相談室相談員として、対応に勢ての活動を行った。 ②留学生のための災害対応マニュアルを更定である(現在、翻訳中)。留学生センターのは、国際課と調整中である。 ③日本語教育副専攻の副主任として、学生技務めた。	・ 新し、3 災害対	月末	kまでに発行する予 システムについて
進路指導	0.10	・オープンキャンパスに参加し、来訪した留学生に情報を提供でた、日本人学生に対しては、「短期留学」の宣伝に努める。県内本語学校に、オープンキャンパスの案内を出す。 ・在籍する留学生からの進学相談に対応・指導する。 ・琉大に進学を希望する学外からの問い合わせに対応・指導す	内の日	0.50	①県内の日本語学校に、オープンキャンパスパスで来訪した留学生に情報を提供した。ま「短期留学」の宣伝に努めた。 ②在籍する留学生からの進学相談に対応・す ③琉大に進学を希望する学外からのメールでた。	た、日 旨導し	本人 た。	、学生に対しては、
国際交流	0.00	①地域の小中高等学校からの交流申し込みに対応し、留学生 高校の児童・生徒との交流会を行う。	と小中	0.05	①地域の小中高等学校からの交流申し込み の児童・生徒との交流会を行った。	に対応	ぶし、	留学生と小中高校
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設 ださい。	と定してく	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。			

	平成24年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)								
名	前	武藤彩加	所 属	留学生	センター	職名	准教	7授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成24年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成24年度 年度末自	己点検約	吉果		
教育	0.30	①「日本語研修コース(大学院前予備教育)」4月期およびコーディネーターとして、プログラムをスムーズに遂行できる。②「日本人学生ボランティア」のコーディネート業務を以て行する。 a)日本人学生向けの登録説明会の実施(4月および10月)b)日本人学生が日本語クラスへ参加する際の取りまとめら)留学生と日本人学生のペア(グループ学習)の取りまとと習支援) ③日本語研修コースで新しく導入した教科書(『Jブリッジ材およびテストとクイズの作成を引き続き非常勤講師と連打に進める。	るよう努め ドの通り実 り(個別学 』)の副教	0.30	①コーディネートしているプログラム(日2年度も無事に運営を行い、滞りなく終了してんのこと、授業外での学生対応についても、見勉強面だけのケアにとどまらず生活面のケス②日本人学生ボランティアについても予定し学生と日本人学生がともに勉強する場を提行ネートした。 ③日本語研修コースを担当している6名の教報を共有しつつ教材の作成と改訂を進めてい	いる。またには土 で もげた はする機	E た担 日もいる 責 会を積	当講義はもちろけ応するなどしている。 と全て果たし、留 責極的にコーディ	
研究	0.30	①科学研究費補助金による研究(基盤(C),「複数の言語によを表す表現』に関する調査研究」,研究代表者)を計画通り②査読付き学術雑誌や紀要に投稿する等,研究の成果の発表行う。	進める。	0.30	①2012年9月18日~22日, 韓国の啓明大学ではよる研究を予定通り進めた。②上記の研究成果の一部について, 論文およた。・「日本語学習者の「テクスチャー表現」のを対象に」, 『ヨーロッパ日本語教育』第16 Education In Europe 16, ヨーロッパ日本書・「テクスチャー(食感)表現」使用にみば、大化学会第26回大会(2012年12月8日), 於阪他にも3月中に、海外の学会における発表をおり, さらに査読付き研究論文が掲載される	び学会に り使用に 号, Japa 吾教師会 うれる男 方大学. 含む2本の	ついて anese (AJE) 女 口頭	て発表を行っ て一沖縄の留学生 Language - こついて」,言語	
社会貢献	0.10	①地域の小学校児童と留学生との交流会を引き続き企画・ 既に予定されている交流会は以下の通りである。 6/15 (金),宜野湾市立宜野湾小学校との交流会 ②留学生センター主催の「留学生まつり」をセンター教員と 施する。		0.10	①前年度に引き続き、複数の交流会を企画・期とも宜野湾市立宜野湾小学校にて児童とた。また、明日も宜野湾市立長田小学校でのテーション(お国紹介)指導や先方との連続のセンター教員間で連携し無事実施した。	留学生の 交流会を	交流会 - 控え	stを企画・実施し 学生のプレゼン	
管理運営	0.10	①短期留学プログラム実施委員会(カリキュラム部門),短員(コーディネート部門),学生生活委員会,学生支援・指導会,学生生活実態調査委員会,日韓共同理工系学部留学生事会等の委員会活動に積極的に参加する。 ②2次募集があった場合人文社会科学研究科・観光学研究和題作成員として問題作成や採点業務などを行う。 ③紀要編集委員長として,留学生センター紀要『留学生教育発行する。	算専門委員 業実施委員 斗の入試問	0.10	①定められた会議およびミーティングには等、学内の管理運営に貢献している。 ②2週間後の入試に向けて問題作成等の準備 ③紀要の編集作業についても編集委員会を打る。	を進めて	こいる。	0	
進路指導	0.10	①特に私費の学生(研究生・および大学院生)については、 募等も含め指導教員と連携して指導にあたる。 ②研究室に在室中は常にオフィスアワーとして活用し、学生 常に真摯に応じ適切な助言を心がける。		0.10	①研修コース受講生のみならず、修了した学学についての相談を受けアドバイスしていた時に必要な推薦書を作成するなどの協力を行 ②今学期は特にメンタルな面でケアを必要の連絡を取り合いながら対応した。	る。また, _{亍ってい}	, 奨学 る。	金の応募や進学	
国際交流	0.10	7/14 (土) に大阪にて開催されるJASSO(日本学生支援機構) 「外国人学生のための進学説明会」へ参加し、日本の日本語に在籍し大学や大学院等への進学を目指している外国人留等に合った学校選択をして実りある留学が達成できるよう、琉育制度等に関する的確な情報を提供し、広報に努め入学希望きるようにする。	教育機関等 学生が,希望 球大学の教	0.10	定められた職務を滞り無く遂行した。				
計	1.00			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう,記載してください。				

(7331)	平成24年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)										
名	前	山元 淑乃	所 属	留学生·	センター	職名	講師				
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成24年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成24年度 年度末自	己点検結	果				
教育	0.40	①担当授業にポートフォリオを導入し、学習者の自律学習能学習動機の維持を促す。 ②受講者の反応を確かめながら授業を進め、クラスをスムー営する。 ③協働学習を取り入れ、学習者主体の授業を行うよう工夫す④留学生センター提供日本語科目、URSEP日本語科目、大切研究生対象日本語科目、理工学研究科特別コース日本語科ディネーターとしてをコースを運営する。 ⑤日本語初級文法の教材開発を進め、42課中21課分を作成	·ズに運 ⁻ る。 学院生・ 目のコー	0.40	①担当授業にポートフォリオを導入し、学習者動機の維持に貢献した。 ②各授業後にポートフォリオを確認することにながら運営することができた。 ③担当授業に「ジグソー学習法」と呼ばれるたの多いクラスでも、学習者主体の授業をスム④留学生センター提供日本語科目、URSEP和本語科目のコーディネーターとして、留学生のを改訂し、コースを運営した。 ⑤日本語初級文法の教材開発を行った。全計作成し、担当授業で使用した。	こより, 学	習者の反応を確かめ まを取り入れ、受講生 営することができた。 学院生・研究生対象日 調査し、カリキュラム				
研究	0.20)アクションリサーチを実践し,研究論文を執筆,学会誌または紀要 - 投稿する。 シフランス国立リール第三大学の日本学科と共同研究に着手し,デー ・収集を開始する。		0.20	①協定校であるスウェーデンヨーテボリ大学の究により、中国雲南方言話者の日本語発音音要に投稿し研究成果を発表した。②日本語教育研究者のための質的研究に関施し、質的研究手法を学んだ。来年度以降、本学科の協力によりインタビュー調査を実施③ハワイの沖縄県系人を対象とした日本語等金城尚美教授と共同研究を計画し、助成金を	習得に関す するワー フランス国 する計画 学習動機調	する論文を執筆し、紀 クショップを企画、実 ヨ立リール第三大学日 を立てている。 調査に関して琉球大学				
社会貢献	0.10	①ホームページを充実させ、留学生センターの教育・活動内学内外、地域、海外へ発信する。 ②スピーチ大会と留学生祭りの運営に携わり、責任を果たす		0.10	①ホームページを管理とリニューアルを続け、内容を広く学外へ発信した。琉球大学留学生成し、情報発信をより容易にした。 ②スピーチ大会と留学生祭りの運営に携わり	センターの	のfacebookページも作 果たした。				
管理運営	0.10	①短期留学プログラム実施委員会、留学生センター運営委員域貢献推進委員を務める。 ②URSEPプログラムのコーディネーターとしてプログラムを運 ③留学生センター年報編集委員として年報の発行に携わる。 ④ハラスメント相談窓口担当者として、責務を果たす。	営する。	0.10	①短期留学プログラム実施委員会、留学生+委員会、全学情報システム技術専門委員会の②URSEPプログラムのコーディネーターとして③留学生センター年報編集委員として年報の④ハラスメント相談窓口担当者として、必要な	の委員とし プログラ)発行に携 ;責務を果	て責任を果たした。 ムを運営した。 きわった。 たした。				
進路指導	0.10	①指導留学生に個別面接を行い、生活・修学上・進路の相認る。 ②短期留学修了後に再留学の希望がある留学生を、積極的 する。		0.10	①指導留学生に個別面接を複数回実施し、 する助言を行った。 ②短期留学修了後に再留学の希望のある留 再留学を実現し、1名が現在留学準備中であ	学生を積					
国際交流	0.10	①留学生と日本人学生の交流を促進する。外国語センターと日本人学生の英語力向上に貢献する。 ②語学教員と連携し、日本人学生の海外留学派遣を促進す		0.10	①日本人学生を対象とした「English Conversを派遣し、日本人学生の英語力向上に貢献し②フランス語教員と連携し、日本人学生を対プレゼンテーション(お国紹介、大学紹介)を③韓国留学フェアにおいて琉球大学のPRをそのワイ(ハワイ大学マノア校・ヒロ校)においてテーションを行った。 ⑤韓国慶熙大学の学生を対象にしたサマー	した。 象とした留 実施した。 行い、留 ^ち いて短期留	学派遣促進のための 学生獲得に努めた。 習学促進のためのプレ				
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標をださい。	設定してく	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう. 記載してください。						

(別紙1) 本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

(別i	(別紙1) 本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。 平成24年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)								
מ	***			T		き曲点エ			
名		章原 恭子	所 属		センター 職 名	講師			
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成24年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成24年度 年度末自己点検結				
教育	0.30	1.共通教育科目「日本語ⅢCJ(中級作文)及び「日本語ⅣJ(中級二担当する際、各クラスで学生のニーズ及びレディネス調査を十分に介して小スで学生のニーズ及びレディネス調査を十分に介を行う、課題を適宜境元し、そのフード・パックを適切に行うことで学・ を効果的に向上させるように努める。 2.短期交換留学日本語日本文化研究ニースの学生の研究レポートの行い、学期末に発表金を開催できるよう指導する。 3.BJIでジネス日本語能力テスト対策教材の教師用マニュアルを発イネス日本語教育関係者に広(風布する。4.アジア人財プログラムの修了生に対する追跡調査を実施し、ビジ語科目のシラバス改善に役立てあ。 1.5ショーススインターンシッププログラムを実施し、沖縄県内で鉄調ある留学生を発掘し、企業との構造しをすることで地域に貢献する。	行い、学生 学生の能力 の指導を 行し、ビ ネス日本	\$6	1.共通教育科目「日本語皿の」(中総作文)及び「日本語」V」(中総ユュース、法文学部副専攻日本語教授法を担当する際、各クラスで学生のニーズ及レディネス調査を十分に行い、学生のレベルとニーズに合わせるため極力生作成教材を使用し、質の高い授業を行うべく努力した。課題を適宜提示し、そのフィードバックを適切に行うことで学生の能力を効果的に向上させように努めた。 2.短期交換留学日本語日本文化研究コースの学生の研究レポートの指導行い、学期末に発表会を開催できるよう指導した。また、レポートと発表内を「短期留学生レポート集!1」として編集し、レポート集を発行した。同様に10日本語・日本文化研修留学生研究レポート集(1)」についても編集作業を10人の表していた。3.B.ITビジネス日本語をサライス・カンス・カンス・カンス・カンス・カンス・カンス・カンス・カンス・カンス・カン				
研究	0.30	1. 科学研究補助金の基盤研究(c)「外国人のビジネス日本語能力的 関する基礎研究・評価システムの構築をめざして一」課題番号2252 行すべ、昨年度に15株法・国内外でBJTビジネス日本語能力テス スとビジネスCan-do statemens調査を実施する。 2. 2010年度に実施した・1. に関する調査の成果を論文としてまとめ、 学術雑誌に契権する。 3. 留学生センター紀要「留学生教育9号」に研究論文を投稿すべく る。 4. 沖縄県日本語研究研究金で口頭発表をすべく、研究成果をまとが アジア人財プログラムの修了生に対する追跡調査を実施する。	20535を遂 スト模擬テ 、外部の 研究を進め	0.25	1 科学研究補助金の基盤研究(の) 外国人のビジネス 関する基礎研究・評価システムの構築をめざして一直 遂行すべく、昨年度に引き続き、国内外(東京、沖縄・ ス、米国)でBJTビジネス日本語能カテスト模擬テストと statement調査を実施した。 2. 2010年度〜2011年度に実施した1. に関する調査の 語教育学会奉手太会にて口頭発表し、広く周知した。 3. 留学生センター紀要『留学生教育9号』に研究論文を 幼、論文を投稿したが、再投稿となり、現在、アタの早 る。 4. 沖縄県日本語研究研究会で口頭発表をすべく、研究 5. アジア人財プログラムの修了生に対する追論調査を 5. アジア人財プログラムの修了生に対する追論調査を	果題番号22520535を 占古屋、仙台、フラン ビジネス Can-do 成果を2012年度日本 投稿すべく研究を進 再収集を継続中であ R成果をまとめた。			
社会貢献	0.10	1. 留学生によるスピーチ大会を開催し、地域に留学生のメッセージで る。 2. アジア人財資金構想の高度実践留学生育成事業が終了したこと 立化が推進されていることから、事業実施中に培ったものを社会に多 くため、沖縄コンノーシアム関係者のみならず、ビジネス日本語教育 広く情報発信をしていく。	により自 発信してい	0.15	1. 留学生によるスピーチ大会を開催し、地域に留学生のメッセージを発信した。また、沖縄県外国人弁論大会に出場した2名の学生のスピーチ指導を行った。 2. アジア人財資金構想の高度実践留学生育成事業が終了したことにより自立化が推進されていることから、事業実施中に培ったものを社会に発信しいたため、沖縄コンソーシアム関係者のみならず、ビジネス日本語教育関係者に広く情報発信をしていくため、沖縄県経済同友会の「ひとづくり委員会」の会合に出席し、琉球大学でのビジネス日本語教育の取り組みについて講演を行った。 3. 中小企業庁の「アジア留学生の人材活用に関する連絡会議」の委員に任命され、留学生の就職支援に向けての会議に出席した。 4. 那覇西高等学校のフランス語の授業に、3名のフランス人交換留学生を弓栗し、交流会に参加した。				
管理運営	0.10	1. 聴球大学21世紀グローバルブログラム実施検討委員会委員として 出席し、与えられた任務を全うする。 2. STRPプログラム受け入れ担当教員としての責務を果たし、プログ 展のために協定校を訪問するなどして、交換留学による交流を促進 3字生交流帯門委員会の委員として、与えられた職務を全うさ。 4.国内の進字説明会に積極的に参加し、学生の獲得に努める。 5. ハラスメント防止委員会委員としての職務を果たす。	ラムの発		1 琉球大学2!世紀プローバルプログラム実施検討委員に出席し、与えられた任務を全うした。 2 STRPプログラム受け入れ担当教員としての責務を昇展のために協定校を訪問し、(ハワイ大学・フケ校、パス国立大学・ミシガン州立大学・文教留学による交流を3学生交流専門委員会の委員として、与えられた職務・4末京の進学説明会に搭配的に参加し、琉球大学への留学のを行った。 5、パラスメント防止委員会委員としての職務を果たした。	はたし、プログラムの発 フイ大学ヒロ校、ラオ 促進した。 を全うした。 努めた。また、ラオス のプロモーション活動			
進路指導	0.10	1.大学進学を希望している科目等履修生には日本留学試験に関する 適宜受け付け、自主学習の手動けをする。 2.大学卒業後に日本または沖縄で就職を希望している短期留学生に は就職相談に応じる。 3.研究室に在室中は常にオフィスアワーとして活用し、留学生の相談 に真摯に応じ、適切な助言を心がける。 4. 法文学部日本語教育副時事攻の学生の進路相談に応じ、ニーズに 適切なアドバイスをする。	こついて		1.大学進学を希望している科目等履修生には日本留学 適宜受け付け、自主学習の手助けをした。 2.大学卒業後に日本または沖縄で就職を希望している は就職相談に応じ、就職説明会に参加するように促した 3.研究室に在室中は常にオフィスアウーとして活用し、 に真摯に応じ、適切な助言を心がけた。 4. 法文学部日本語教育副専攻の学生の進路相談に成 て適切なアドバイスをするよう心がけた。	短期留学生について こ。 留学生の相談には常			
国際交流	0.10	1.交換留学担当者として、積極的に海外の留学フェアに参加し、留学 け入れ。始加を促進する。 2. 協定校と第一連絡を取ることによって、ニーズに応える努力をし、 制度を分儀させる。 3. 新たな協定校開拓すべく、積極的に研究交流を行なう。 4. 国際課と協力して、第3回短期留学生によるお国、大学紹介の会 派遣留学を促進する。	交換留学	0.10	1.交換留学担当者として、ハワイとラオスの留学フェアに参加し、ブレゼン テーションや、交流担当者との面談を通して、留学生の受け入れ増加を促進 すべく努めた。 2. 協定校と密に連絡を取ることによって、ニーズに応える努力をし、交換留 学制度を発展させるべく努めた。 3. 新たな協定校を開拓すべく、積極的に研究交流を行なうために、米国の イースタンミシガン大学とフランスのエクス・プロバンス大学にて、研究調査を 実施した。 4. 国際課と協力して、第3回短期留学生によるお国、大学紹介の会を実施 し、派遣留学を促進した。				
計	1.00	・ウェイト比が1,00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診検業形に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を記 ださい。	殳定してく	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。				
ш				1					